

専攻医の教育指導と評価について

鈴木 康之

岐阜大学 医学教育開発研究センター
日本小児科学会 生涯教育・専門医育成委員会

第120回日本小児科学会学術集会 2017.4.14



公益社団法人

日本小児科学会

Japan Pediatric Society



日本小児科学会 COI 開示

発表者名： 鈴木康之

日本小児科学会の定める利益相反に関する
開示事項はありません

はじめに

- 今年度スタートした新専門研修制度は **プログラム制** であることが大きな特徴である。
- **研修管理委員会**は プログラム（カリキュラム）を構築・運営するだけでなく、専攻医を評価して、**適切な修了判定**を行い、研修修了者が**小児科専門医試験を受けるに足る十分な能力**を有していることを**保証**しなければならない。

小児科専門医制度プログラム整備基準

- 研修プログラム管理委員会
- 総括的評価
- 形成的評価
- 診療現場での評価
 - **mini-CEX** : mini-clinical evaluation exercise
 - **360度評価**
- マイルストーン評価

研修プログラム管理委員会の役割

1. 研修カリキュラムの作成・運用・評価
2. 個々の専攻医に対する研修計画の立案
3. 専攻医の学習機会の確保
- 4. 研修の進捗状況の把握（年度毎の評価）**
 - 研修実績および評価を記録し蓄積するシステム
 - 医師としての適性評価
- 5. 研修修了認定（専門医試験受験資格の判定）**
6. 研修施設・環境の整備
7. 指導体制の整備（指導医FDの推進）
8. 学会・専門医機構との連携、情報収集

専門医総括評価の全体像

アウトカム 	専門医試験				研修管理委員会		
	筆記	症例	面接	論文	研修手帳	Mini CEX	360°評価
	◎	◎	◎	○	○	◎	○
			○				○
			○				○
	○	○		◎			
プロフェッショナル		○	◎		○	○	◎

総括的評価（専門医試験）

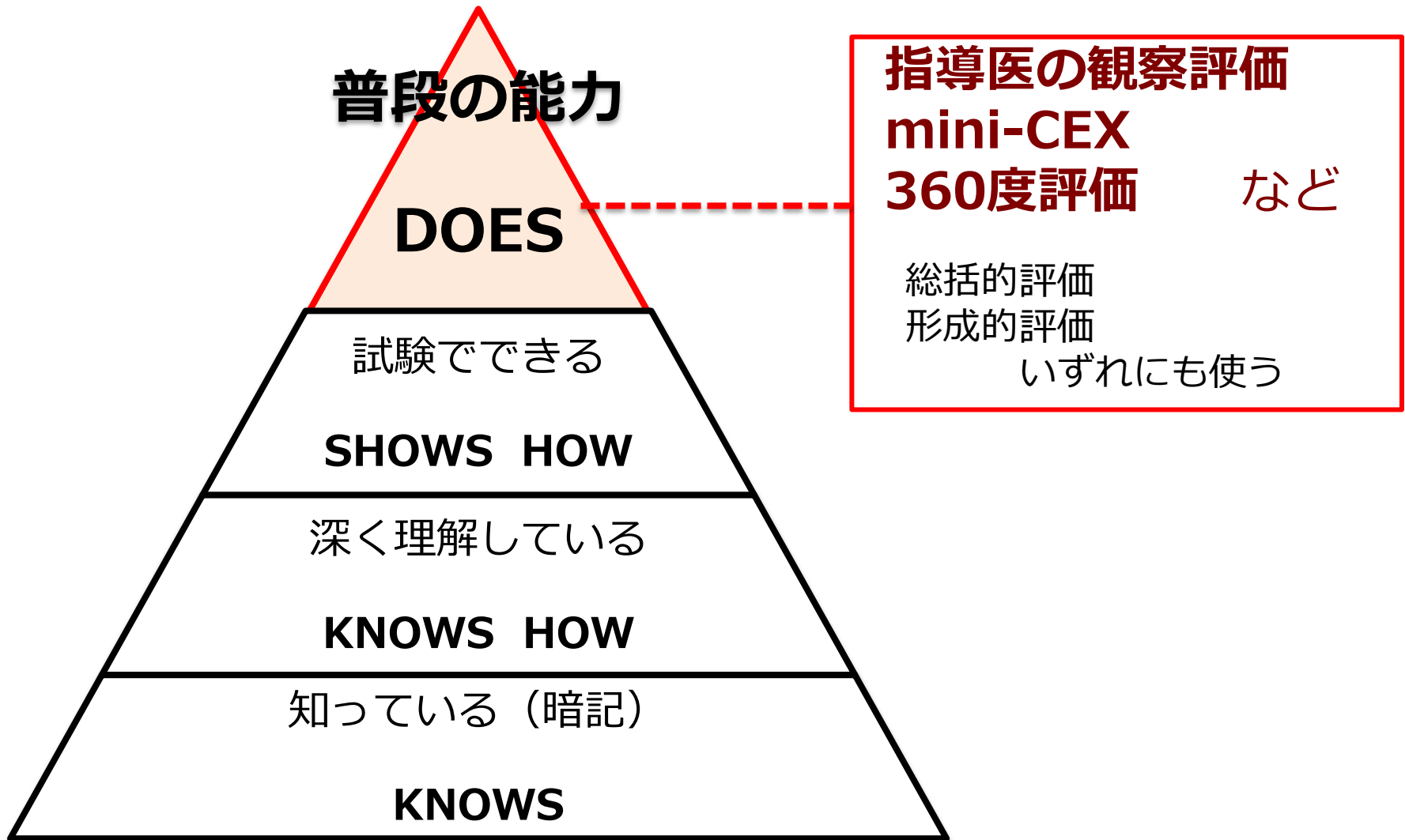
筆記試験	120問 ➡ 140問へ
面接試験	変更なし
症例要約	30症例（10分野） 各分野 2 例以上（1 例以上の指定疾患）
論文	査読制度のある雑誌に掲載

研修施設での総括的評価

- 小児科専門医試験を受けるに足る十分な能力を有しているか？
- 研修プログラム管理委員会が実施
 - 中間評価（毎年 1 回）
 - 最終評価（3 年修了時）
- 診療現場での評価を参考にして決定
 - **Mini-CEX**
 - **360度評価**
 - 指導医の観察評価、マイルストーン評価、DOPS など

診療現場での評価

Workplace-based assessment (WBA)

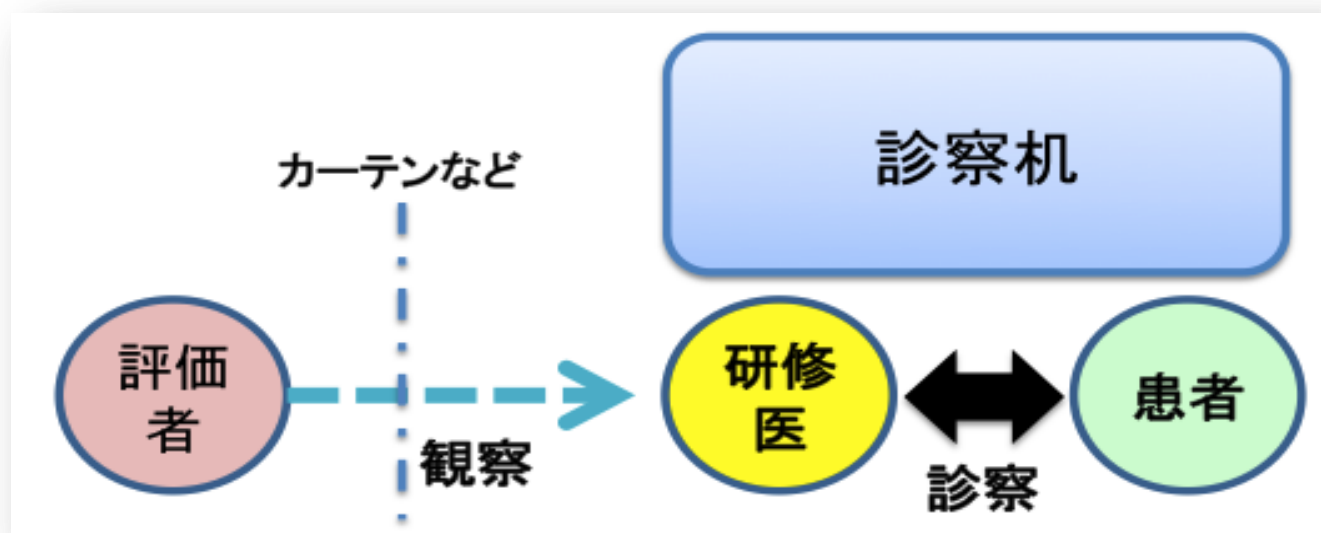


形成的評価

- 日常的フィードバック、アドバイス
5マイクロスキルなど
 - ・ オンラインセミナー（学会HP）
 - ・ 小児科医のための指導医講習会
 - ・ 小児科医のための医療教育の基本（日児誌2012連載）
- 研修手帳を用いた振り返り
 - 年2回の **mini CEX**
 - 年1回のふりかえり
 - マイルストーン評価（今年度中に手帳に追加予定）

Mini Clinical Evaluation Exercise (mini-CEX)

- 専攻医の診療場면을指導医が観察（10分程度）
- 診察能力の評価を記載
- 良い点・改善点のフィードバック（数分程度）
- 年2回、3年間で6回
- 主として形成的評価に使うが、総括評価の参考にもなる



mini-CEX



**指導医
オンラインセミナー**

必見

	A	B	C	D	N
1 病歴聴取	☐	☐	☐	☐	☐
2 診察	☐	☐	☐	☐	☐
3 コミュニケーション	☐	☐	☐	☐	☐
4 臨床判断	☐	☐	☐	☐	☐
5 プロフェッショナリズム	☐	☐	☐	☐	☐
6 効率（まとめる力）	☐	☐	☐	☐	☐
7 総合判定	☐	☐	☐	☐	☐
良かった点					
改善すべき点					
レベルアップのための合意した行動					
評価者署名			日付		

360度評価（多職種評価）

- 職種を越えて学習者（専攻医）を評価する
- それぞれの職種の目線で、専攻医の優れている点、気になる点を率直に評価する
- 記載された評価表は研修管理委員会で回収
- 間接的に専攻医にフィードバックする

① 専攻医「私の360度評価をお願いします」
医療チーム医師、看護師、クラークなど



② 記載した評価表は研修委員会へ（研修医には渡さない）

360度 評価

指導医
オンライン
セミナー

近日公開

	A	B	C	D	評価 不能
1. 小児科医としての総合的な臨床能力					
臨床手技、現場での配慮、重症度・緊急度の判断					
コミュニケーション、信頼関係、心理社会的側面					
時間配分、社会・医療資源の活用					
2. 小児保健・育児支援の姿勢					
健康診査、予防接種、健康増進、療育・育児支援					
3. 子どもの代弁者としての姿勢					
患者・家族の思い、社会生活への配慮					
4. 学識を積み、探求する姿勢					
最新情報、研究会等への積極的参加、成果の発表					
5. 医師としてのプロ意識					
同僚とのチームワーク、多専門職を尊重する姿勢					
リーダーシップ、教え共に学ぶ姿勢					
自己の限界の認識、ストレス・健康管理					
6. 概略評価					
総合的に判断して評価して下さい					
優れている点（自由記載）					
気になる点（自由記載）					

マイルストーン評価

- 小児科専門医としての能力到達度を、毎年 1 回、自己評価および指導医評価し、不足分については次年度での能力修得をめざす。
“マイルストーン評価”

アウトカム 	学生 レベル	初期研修 修了段階	専門研修 修了段階	指導医 レベル
子どもの総合診療医				
育児・健康支援者				
子どもの代弁者				
学識・研究者				
プロフェッショナル				

日本小児科学会の指導医像

- 小児科専門医としての高い診療能力

到達目標レベルB

- 医療人としての優れた資質

コミュニケーション、省察、傾聴共感、公平性、柔軟性

- 指導者としての優れた能力

プログラム構築、研修指導法、評価法、ロールモデル

指導医の認定要件

- 専門医資格を 1 回以上更新
(指導医の初回認定 = 専門医の初回更新時)
- 研修 (下記いずれか)
 - 小児科医のための臨床研修指導医講習会
 - 小児科指導医オンライン・セミナー (7本)
- 小児科関連論文 1 編以上
 - 査読制度のある雑誌、申請前 5 年間
 - 筆頭もしくはcorresponding author

施設内での
研修に活用
して下さい

申請時期：毎年 3 月 (専門医更新時)

Take Home Message

研修管理委員会はプログラム（カリキュラム）を構築・運営するだけでなく、専攻医を評価して、**適切な修了判定**を行い、研修修了者が**小児科専門医試験を受けるに足る十分な能力**を有していることを**保証**しなければならない。